

Tea Time Talk with Midori ●Photographer Satoshi Teradate

「僕が貧乏学生だった頃
ジュネーブで赤十字100周年
記念パレードの代理出席を
するはめになって…」



対談連載

9
~ Guest ~
近衛忠輝
日本赤十字社社長

このえ・ただる
1939年5月8日東京生まれ。学習院大学政経学部政治学科卒。
62年ロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 国際関
係論 ジュネーブコース修了。64年12月日本赤十字社入社外務部勤務。
72年9月にジュネーブ赤十字・赤新月社連盟勤務。76年2月日本赤十
字社外務部第二課長。81年4月にジュネーブ赤十字・赤新月社連盟災
害対策部長。85年7月日本赤十字社外務部次長。88年5月同社会部
長。同年8月同社会部長兼外務部長。89年1月同外務部長。91年4月
同副社長(2005年3月)。兼学校法人日本赤十字学園理事長
(2005年3月)。95年1月兼国際赤十字赤新月社常置委員会委員
(2003年11月)。(2期)。2005年4月日本赤十字社社長就任。



西浦みどりのアフタヌーンティー

西浦 このところ、奥さまとお二人おそろいでお目にかかるのは、パーティー等のおよばれのお席ですね。甯子さまがいつも、おやさしい笑顔でお声をかけて下さるのが、嬉しいですわ。

近衛 ありがとうございます。今日は、よく来てくれました。有功章もつけてきてくれて、嬉しいですよ。服とも、よく合ってる。

西浦 今日くらいしか、これが登場するチャンス、ないですよ。近衛 いや、いつもつけてくれていいんですよ。

西浦 日赤さんとのご縁は祖母の代からですね。ところで、うちの近所の例のお店では、最近お見かけしないので…。

近衛 あそこはおもしろいんですよ。いろいろな人がいて。

西浦 私の大好きな、山口淑子(李香蘭)さんも常連ですわ。

近衛 そう、山口さんと言えば、僕が最初に赤十字とかかわった時に、山口さんが出てくるんですよ。

西浦 どちらで？

近衛 62年から64年まで、僕がロンドンで貧乏学生をしていた頃、63年だったかな、それこそ貧乏旅行をして旧知のジュネーブの青木大使を訪ねたんです。

西浦 ダンディーでデブプロマットの鏡と言われた方ですね。

近衛 屋根裏部屋でもあったら泊めて下さいと頼んだら、よからう、その代わり丁度二人足りないからマジジャンを付き合え、と言われましてね。

西浦 そうでしたの。

近衛 当時、僕はようやく上がり

西浦 そうでしたの。

近衛 当時、僕はようやく上がり

西浦 そうでしたの。

近衛 当時、僕はようやく上がり

西浦 そうでしたの。

近衛 当時、僕はようやく上がり

西浦 そうでしたの。

近衛 当時、僕はようやく上がり

西浦 そうでしたの。

出合いはおもしろいですわ。

近衛 そもそも、私の誕生日は赤十字の創立記念日なんです。この4月に日本赤十字社の社長に就任しましたが、かれこれ40年の付き合いなんですけどね。

西浦 社長に就任されて、改めて日本赤十字社についてお感じになりましたことはありますか？

近衛 山でもつべんから見ると下を何をやっているか、よく見たりもするわけですね。こうしたらどうか、ああしたらどうかと徹を飛ばしてますが、まあ、副社長も長く務めてましたから、ある程度はわかっているつもりです。

西浦 最近、血液のことでは、いろいろと厳しいご批判もいただきましたけど、そもそも日赤は献血(血液事業)だけでなく、国際的にも幅広く有意義なプロジェクトを多数展開していますから、さらに皆さまのご理解を深めるためのお手伝いを心がけていきますよ。

近衛 ありがとうございます。まさにそのとおりで、あまりにもたくさんのお礼をされているから、なかなかイメージが統一できないんですけど、様々な貢献をしていますよ。

西浦 はい。ホームページを見ましたので、よく解りました。それから私が医療センターの外部評価委員になってはや3年ですけど、見ていて一番気がつくことは、看護師さんたちがとても温かいことです。何だか医療センターのピーアールみたいに聞こえてしまうかもしれないけど、多くの方々から同じことを言われるので、ほんとうにありがたいし、嬉しいことですね。

近衛 それは、よかったです。確かに私もそう感じますね。元々、日赤の病院は救護員養成のためにつくつ

たんです。看護大学もありますし、そうした意味でも日赤は看護師ありきでしょう。

西浦 それこそ、いい意味での「日赤らしさ」だと思います。大体、医療センターについて苦情を頂戴する時は、建物施設が古くて不便だとか、最近では大病院でもあたりまえになった、皮膚科の審美レーザー治療部門がないとか、そういったことがほとんどなので、こうした点は、皆さまによるこんでいたでけるような新築施設が建てば克服できることですし。

近衛 そうですね。いいものを建てればね。

西浦 そのためには、たくさんお金がかかりますから、よろしくお願いします。

近衛 わかりました。頑張りますよ。

西浦 ところで、名古屋で開催中の愛・地球博覧会にある日本赤十字社のパビリオンが、大変好評と聞きました。

近衛 おかげさまで、来てもらったらわかるんですが、若い人たちにも

人気なんです。非常にリアリティがあるんです、現実性というか。

西浦 いわゆる原点を見つめ直すというような。

近衛 そうなんです。70年の大阪万博では、新幹線も開通し、あらゆる先端技術が目ざされて、テクノロジーの進歩に人々が関心を寄せた時代でした。今回は、もちろんロボットなどのハイテクの夢を追ったパビリオンもあつて、それはそれで素晴らしいけど、特に9・11以来、命について考える人が若い人たちも含めて多くなつたということが、日赤パビリオンの人気の理由だと思ふんですね。

西浦 なるほど。人道と博愛の精神、そして命と尊厳を守るのが日赤のモットーですものね。パビリオンをたくさんの方々にご覧いただき、日赤の活動に賛同、そして評価してもらえれば、ご寄付のほうもお願いしやすくなりますわ。協力いたしますよ。

近衛 お願いしますよ、ぜひとも。

西浦 今日、楽しいお話をたくさん伺えて、よかったですわ。日赤の歩みや活動については、ホームページを見れば、一目瞭然なことです。あえてパーソナルなおしゃべり談話をして下さって、嬉しく存じました。

近衛 こちらこそ楽しかったですよ。これからはもつと意見交換をしましょう。また、来て下さい。



愛・地球博 日本赤十字社パビリオン内のギャラリー

にしろみどり

国際コンサルタント・評論家
(オピニオンリーダー)。
東京生まれ、英国育ち。インバスター
レーションズを主とする国際金融と都市
開発(商業・住宅等)のコンサルタント
会社社長として契約企業・団体多数。
テレビのニュース情報番組では、ユモ
アたっぷりの辛口コメントで、中高生か
らシルバー世代まで幅広い支持を得て
いる。特に若い女性には、講演・著書
を通じてエレガントなエグゼクティブの
お手本としても人気。政府委員、日本赤
十字社医療センター外部評価委員も務
めている。5冊目の著書『大人の品格』
(PHP研究所)が好評発売中。